



# Salesforce連携オプション 運用ガイド

最終更新日: 2025.9.26

Version: 1.0.0

---

株式会社オロ クラウドソリューション事業部

## 目次

- はじめに
- [Salesforceで連携エラー一覧を確認する方法](#)
- [既存のSalesforce商談と既存のZAC案件の連携方法](#)
- [既存のZACクライアントの連携方法](#)
- [ZACに連携するSalesforceの項目を変更する方法](#)
- [ZACに連携するSalesforceの項目を追加する方法](#)
- [連携対象のフェーズの変更方法](#)



はじめに

## ガイドの目的

このガイドでは、Salesforce連携オプションのセットアップ後の運用変更や、セットアップ時に特定の理由で必要となる作業について説明します。  
セットアップ方法については、別資料のセットアップガイドをご参照ください。

Salesforce連携をご利用のお客様が、お客様ごとの運用に合わせて調整いただくための参考にしていただくことを目的としています。

# Salesforceで連携エラー一覧を確認する方法

## 本章の目的

本章では、Salesforceで連携エラーとなっている商談の一覧を確認する方法を説明します。

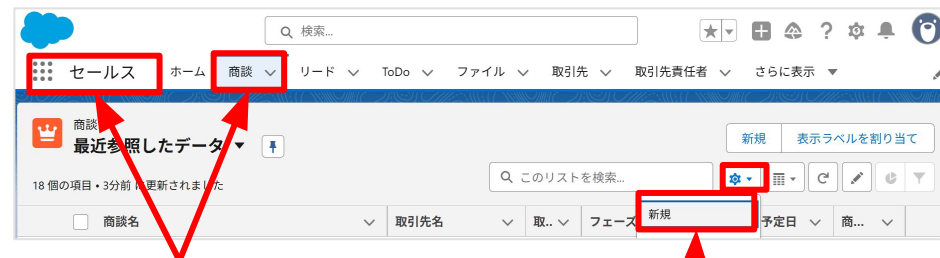
本章で説明する方法は、下記のようなシチュエーションでご活用いただけます。

- ・セットアップの検証中に、連携エラーとなっている商談を一覧で確認したい
- ・マネージャーが連携エラーとなっている商談一覧を確認したい
- ・各営業担当が自分が担当している商談の連携エラー一覧を確認したい

## 商談リストの作成

エラー商談(チェック実行失敗)を一覧で確認できるよう、  
商談リストを作成します。

- ①「セールス」の画面から「商談」を選択します。
- ②「リストビューのコントロール」のアイコンをクリックし、「新規」を選択します。
- ③「リスト名」、「リストAPI参照名」に任意の名称を入力し、「誰がこのリストビューを表示しますか?」について選択した上で、「保存」をクリックします。



①「商談」をクリック

②「新規」をクリック

新規リストビュー

\* リスト名  
連携エラー一覧

\* リスト API 参照名 ⓘ  
zac\_error\_view

誰がこのリストビューを表示しますか?

☐ 自分だけがこのリストビューを表示できる

☒ すべてのユーザーがこのリストビューを表示できる ⓘ

☐ リストビューをユーザーグループと共有 ⓘ

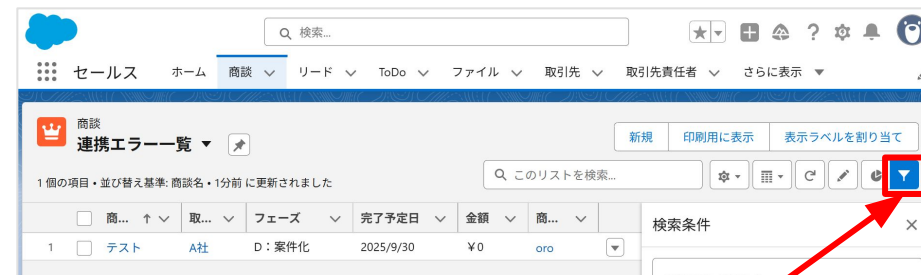
キャンセル 保存

③入力項目に入力した上で「保存」をクリック

## 商談リストの作成

- ④「検索条件」のアイコンをクリックします。
- ⑤「検索条件を追加」をクリックし、  
下記入力をした上で「保存」をクリックします。  
項目 : ZAC連携実行結果  
演算子 : 次の文字列と一致する  
値 : 失敗
- ⑥次に「リストビューのコントロール」のアイコンをクリックし、  
「表示する項目を選択」を選択します。
- ⑦「ZAC連携エラーメッセージ」、「ZAC連携実行結果」、  
「ZAC連携実行日時」等の項目を参照可能項目に設定し、  
「保存」ボタンをクリックします。

※フィルターや列の編集は、適宜調整をしてください。  
例えば、自身が商談担当者になっている商談のみの  
連携エラー一覧を表示したい場合は、⑤で商談担当者の  
フィルターを設定することで可能になります。



④「検索条件」をクリック

⑤左記の入力をした上で  
「保存」をクリック

⑥「表示する項目を選択」を  
クリック



⑦左記設定の上で  
「保存」をクリック

### 作成例

商談 連携エラー商談						
5 個の項目 • 並び替え基準: 商談名 • 検索条件: ZAC連携実行結果 • 数秒前 に更新されました						
<input type="checkbox"/>	商談名 ↑	取...	フェ...	ZA...	ZAC連携...	ZAC連携エラーメッセージ
1	<input type="checkbox"/> テスト	C社	D-1...	失敗	2025-01-...	事業セグメントコードを入力してください。
2	<input type="checkbox"/> デモ用案件 (...)	C社	D-1...	失敗	2025-01-...	事業セグメントコードを入力してください。
3	<input type="checkbox"/> フローテスト	A社	D-2...	失敗	2025-01-...	事業セグメントコードを入力してください。
4	<input type="checkbox"/> フローテスト	C社	D-1...	失敗	2025-01-...	事業セグメントコードを入力してください。
5	<input type="checkbox"/> 連携テスト②...	C社	D-1...	失敗	2025-01-...	案件の進捗が受承の場合は決定確率コードを...



# 既存のSalesforce商談と既存のZAC案件 の連携方法

## 本章の目的

本章では、連携を介さず作成されたSalesforce商談とZAC案件を連携させるための設定方法を説明します。  
これらの案件を連携させるためには、Salesforce商談にZAC案件のJOBNo.を、ZAC案件にSalesforce商談の商談IDを登録する必要があります。

本章で説明する方法は、下記のようなシチュエーションでご活用いただけます。

- ・利用開始時に、Salesforce商談と対応するZAC案件が既に存在している
- ・緊急対応等の理由で、Salesforce商談と対応するZAC案件を手動で作成した

## 既存商談の更新

既存のSalesforce商談と既存のZAC案件を連携させるための手順について説明いたします。

連携させるためには下記の2つの登録が必要になります。

- ・Salesforce項目「JOBNo.」にZAC案件の「JOBNo.」を登録
- ・ZAC案件の「旧JOBNo.」にSalesforceの「商談ID」を登録

※連携によりZAC案件を新規作成した場合は、上記2つの登録は自動で実行されます。

### 【手順】

①Salesforce商談の項目「JOBNo.」に、対応するZAC案件の「JOBNo.」を入力する。

②Salesforce商談のZACに連携される項目に正しい入力がされているか確認する。

※本ページの作業完了後に、対象となるZAC案件の案件基本情報は、Salesforceに登録されている内容で上書きされます。  
正しい登録となっていない場合は、必ず修正をしてください。

③ZAC案件の案件基本画面の項目「旧JOBNo.」に対応するSalesforce商談の「Record ID」を登録する。

④連携実行後、Salesforceの商談を確認し連携されていることを確認します。

※連携の実行方法については、セットアップガイドをご参照ください。

①対応するZAC案件の「JOBNo.」を入力

項目	値
営業担当者コード (案件基本)	0011 - テスト社員 11
集計区分コード (案件基本)	9986 - ZAC (6)
引合日 (案件基本)	2025/09/17
JOBNo. (案件基本)	2200020
ZAC案件進捗	引未
金額	

②ZACに連携される項目情報を確認

商談ID

③対応するSalesforce商談の「商談ID」を登録

編集

項目	値
JOBNo.※	2200020
旧JOBNo.	006gK000005nby1QAA

登録 キャンセル

# 既存のZACクライアントの連携方法

## 本章の目的

本章では、ZACのクライアントマスタに既に登録されているが、Salesforceに連携されていない取引先の連携方法について説明します。

ZACの案件に商談先情報を連携するためには、Salesforceの取引先にZACのクライアントコードが登録されている必要があります。  
通常の連携フローでは、ZACに新規クライアントを登録する際にクライアントマスタにSalesforceの取引先IDを登録すると、  
対応するSalesforce取引先にZACのクライアントコードが連携される仕組みとなっています。

ZACのクライアントマスタ登録時にSalesforceの取引先IDを登録していない場合は、Salesforceの取引先オブジェクトにZACのクライアントコードを直接登録  
いただくことで、ZACの案件に取引先情報を連携することが可能になります。  
本章では、Salesforceへの登録により、Salesforce取引先とZACクライアントを連携させる方法をご案内します。

本章で説明する方法は、下記のようなシチュエーションでご活用いただけます。

- ・連携オプション利用前にZACに登録されたクライアントがある
- ・ZACにクライアントマスタ登録時に、Salesforceの取引先オブジェクトに対応する取引先が存在しなかったが、その後登録された

## ZACクライアントマスタの出力

ZACからクライアント得意先マスタCSVを出力します。

- ① サイドメニューから「アウトプット」をクリックします。
- ② 「クライアント・得意先マスタCSV出力」をクリックします。
- ③ 検索条件を指定した上で、「CSV」のボタンをクリックします。



①「アウトプット」をクリック

②「クライアント・得意先マスタCSV出力」をクリック

③「CSV」をクリック

## Salesforce取引先レコードの出力

Salesforceの取引先オブジェクトから取引先レコードを出力します。

- ①「セールス」画面の「レポート」のタブを選択し、「新規レポート」をクリックします。
- ②レポートタイプに「取引先」を選択し、「レポートを開始」をクリックします。
- ③「アウトライン」で表示する列を設定し、「検索条件」で出力する取引先の条件を設定した後に、「保存 & 実行」をクリックします。
- ④作成されたレポートで「エクスポート」をクリックし、Salesforceの取引先リストを出力します。



## Salesforceへのインポートデータの準備

### Salesforceインポート用のCSVデータを用意する

出力したZACクライアント得意先マスタCSVとSalesforce取引先レコードCSVを、「クライアント正式名」および「会社名」などで結合し、「ZACクライアントコード」「Salesforce取引先ID」が登録されたCSVデータを用意します。

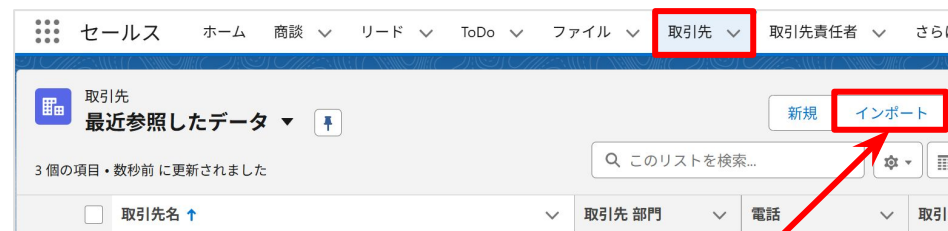
	A	B	C
1	<b>クライアントコード</b>	<b>正式名称</b>	<b>レコードID</b>
2	2220	株式会社A	5388830858
3	887	株式会社B	5265999305
4	2768	株式会社C	6906412711
5	2490	株式会社D	5266005351
6	2405	株式会社E	5266008554
7	2960	株式会社F	7216693644
8	3119	株式会社G	5388727977
9	3029	株式会社H	7434082716
10	2766	株式会社I	5388810785
11	3060	株式会社J	5387816818
12	1510	株式会社K	5265997833



## Salesforceへのインポート

Salesforce取引先オブジェクトに、ZACクライアントコードをインポートします。

- ①「セールス」画面で「取引先」タブを選択し、「インポート」をクリックします。
- ②「インポートしているデータの種類の？」において、「取引先と取引先責任者」を選択します。
- ③「レコードをどのように処理しますか？」において、「既存のレコードを更新」を選択し、「取引先の一致条件」を「Salesforce ID」を設定し、「既存の取引先情報を更新」にチェックを入れます。
- ④「データはどこにありますか？」において、取込ファイルをアップロードし、「次へ」をクリックします。



①「インポート」をクリック

②「取引先と取引先責任者」を選択

③「既存のレコードを更新」を選択し、  
下記の入力、チェックをする

④ファイルをアップロードし、  
「次へ」をクリック

データを Salesforce にインポート  
50,000 件までのレコードを一度にインポートできます。

このページのヘルプ ?

インポートしているデータの種類の？ ?

標準オブジェクト	カスタムオブジェクト
取引先 と 取引先責任者 ✓	

レコードをどのように処理しますか？ ?

新規レコードを追加	既存のレコードを更新 ✓
-----------	--------------

取引先責任者の一致条件: ?  
名前 ▼

取引先の一致条件: ?  
Salesforce ID ▼

既存の取引先情報を更新しますか？ ?  
☒ 既存の取引先情報を更新

データはどこにありますか？ ?

<p>ファイル</p> <p>取引先.csv ✓</p> <p>文字コード ? 日本語 Windows</p> <p>値の区切り文字 カンマ ▼</p>
--

CSV

Outlook CSV

ワークフロールールおよびプロセスを適用しますか？ ?

キャンセル 前へ 次へ

## Salesforceへのインポート

⑤下記表のようにマッピングを行い、「次へ」をクリックします。

ファイルの列見出し	Salesforce項目
クライアントコード	ZACクライアント得意先コード
正式名称	ZACクライアント得意先名
レコードID	Salesforce ID

⑥内容を確認し「インポート完了」をクリックします。

最後に、Salesforceの取引先オブジェクトでインポートが正常に実行されているか確認します。

もう少しで完了です

データを選択 対応付けを編集 インポートを開始

編集	対応付けられた Salesforce オブジェクト	CSV ヘッダー	例	例	例
変更	取引先: ZACクライアント得...	クライアントコード	0002	0012	0001
変更	取引先: ZACクライアント得...	正式名称	A社	クライアント	クライアント2
変更	取引先: Salesforce ID	レコードID	001gK00000J	001gK00000J	001gK00000KR1Cb

キャンセル 前へ 次へ

⑤マッピングを行い、「次へ」をクリック

準備完了です

データを選択 対応付けを編集 インポートを開始

選択内容:

- 取引先と取引先責任者 ✓
- 既存のレコードを更新 ✓

インポート 含まれる内容:

対応付けられた項目  
3

インポート 含まれない内容:

対応付けられていない項目  
0

キャンセル 前へ インポートを開始

⑥「インポートを開始」をクリック

# **ZACに連携するSalesforceの項目 を変更する方法**

## 本章の目的

本章では、ZACに連携するSalesforceの項目を変更する方法を説明します。

なお、既に連携が設定されている項目を変更する場合と、新たに連携する項目を追加する場合では作業方法が異なります。

本章は前者を対象としておりますので、後者をご要望の場合は下記章をご参照ください。

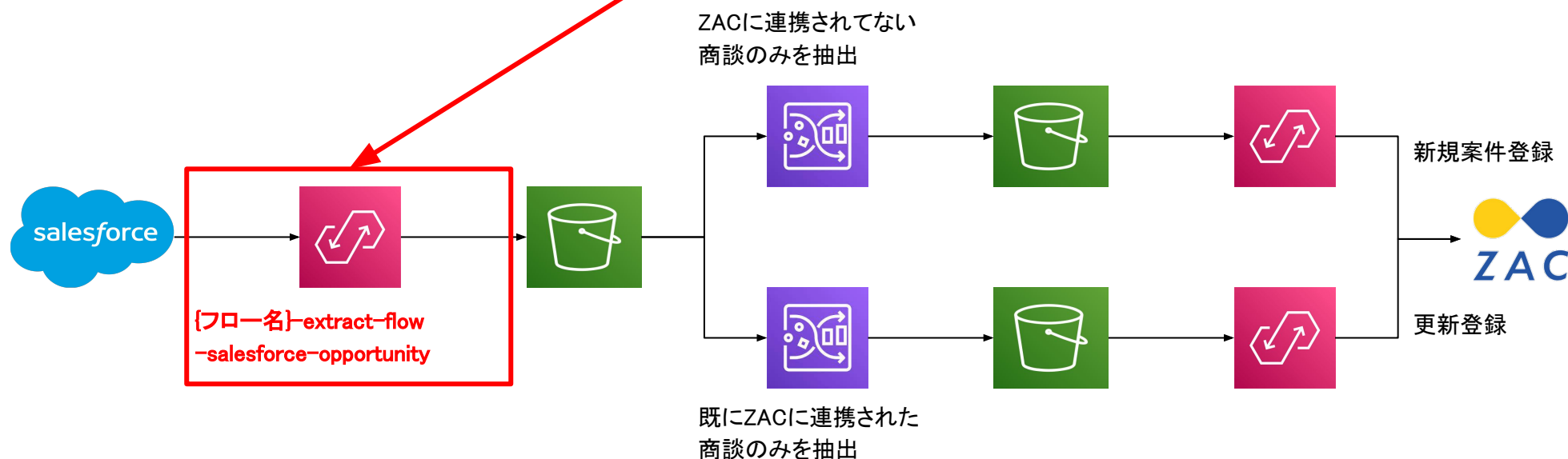
[ZACに連携するSalesforceの項目を追加する方法](#)

本章で説明する方法は、下記のようなシチュエーションでご活用いただけます。

- ・セットアップ時に自動で作成されるカスタム項目ではなく、既に利用しているSalesforce項目をZACに連携させたい

本章ではこちらのフローのマッピングを変更します。

Salesforce→ZACの連携の概略図



## 取込ファイルの作成

連携項目の設定するために、取込ファイルを作成します。  
はじめに、現状のマッピングを定義しているファイルをダウンロードします。

### 【CSVデータのダウンロード】

- ① AWSコンソールの上部検索欄に「CloudFormation」と入力し、「CloudFormation」をクリックします。
- ② スタック名「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」または「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」のスタックをクリックします。
- ③ 出力タブをクリックし、キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリックします。

②「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」または「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」をクリック

③キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリック

①「CloudFormation」をクリック

The image shows three screenshots of the AWS CloudFormation console. The first screenshot shows the search results for 'CloudFormation' with a red box around the 'CloudFormation' service and a red arrow pointing to it. The second screenshot shows the 'serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageS3' stack selected, with a red box around the stack name and a red arrow pointing to it. The third screenshot shows the 'Outputs' tab for the selected stack, with a red box around the 'GlueConfigPathConsoleLink' output and a red arrow pointing to it.

**CloudFormation サービス**

CloudFormation  
テンプレートによるリソースの作成と管理

**スタック (80)**

スタック名によるフィルター

スタック名	ステータス
serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageS3-1HLDQFW68VLNC	CREATE_COMPLETE
serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageS3	CREATE_COMPLETE
serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageS2-7acSfaIntegration-1QSD100A01Q1N	CREATE_COMPLETE

**serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageS3**

スタック (80)

スタック名によるフィルター

ステータスのフィルター: アクティブ

ネストされているものを表示

出力 (3)

キー	値	説明	エクスポート名
GlueConfigPathConsoleLink	https://ap-northeast-1.console.aws.amazon.com/s3/buckets/zac-appflow-s3-glue-config-387420415383/config/	GlueConfigPathConsoleLink	-
WebhookFunctionApiKeyLink	https://ap-northeast-1.console.aws.amazon.com/apigateway/main/apilink	WebhookFunctionApiKeyLink	-

## 取込ファイルの作成

④下記名前のオブジェクトにチェックを入れて、  
CSVをダウンロードします。

本番環境用の場合：

`zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv`

テスト環境用の場合：

`zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv`

④ 左記の3つのオブジェクトについて、チェックを入れ「ダウンロード」する。  
(ダウンロードはそれぞれ個別で行ってください)



## 取込ファイルの作成

次に、ダウンロードしたファイルを編集します。

①下記ファイルを開きます。

(A列: Salesforce項目のAPI参照名、B列: S3のフィールド名)

本番環境用の場合:

`zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv`

テスト環境の場合:

`zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv`

②A列で変更前のSalesforce項目のAPI参照名を見つけ、  
変更したいSalesforce項目のAPI参照名に変更し、  
元のファイル名で保存します。

右の例は、ZACに「引合日」として連携するSalesforce項目を、セットアップで自動作成された「引合日(案件基本)」から、  
別のSalesforceの日付項目に変更する場合の作業を示しています。

CSV

①「`zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv`」または  
「`zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv`」を開く

	A	B
19	zac_pi_code_seikyusaki__c	zac_project_infos_code_seikyusaki
20	zac_pi_else_name_seikyusaki__c	zac_project_infos_else_name_seikyusaki
21	zac_pi_code_client__c	zac_project_infos_code_client
22	zac_pi_else_name_client__c	zac_project_infos_else_name_client
23	zac_pi_date_hikiai__c	zac_project_infos_date_hikiai

②A列で変更前のSalesforce項目のAPI参照名を見つけ、  
変更したいSalesforce項目のAPI参照名に変更し、元のファイル名で保存

	A	B
19	zac_pi_code_seikyusaki__c	zac_project_infos_code_seikyusaki
20	zac_pi_else_name_seikyusaki__c	zac_project_infos_else_name_seikyusaki
21	zac_pi_code_client__c	zac_project_infos_code_client
22	zac_pi_else_name_client__c	zac_project_infos_else_name_client
23	hikiai_date_new__c	zac_project_infos_date_hikiai

Salesforce

### 項目とリレーション

2 件の項目 (項目の表示ラベル順)

🔍 引合日

新規

項目の表示ラベル	項目名	データ型
引合日 (案件基本)	zac_pi_date_hikiai__c	日付
新引合日	hikiai_date_new__c	日付



## スケジュール連携のマッピング変更

作成したファイルをAWSにアップロードします。  
まずはスケジュール連携のマッピングを変更します。

- ① ページ上部検索欄に「AppFlow」と入力します。
- ② 検索一覧から「Amazon AppFlow」をクリックします。
- ③ 「フローを表示」をクリックします。
- ④ 一覧から下記フローをクリックします。

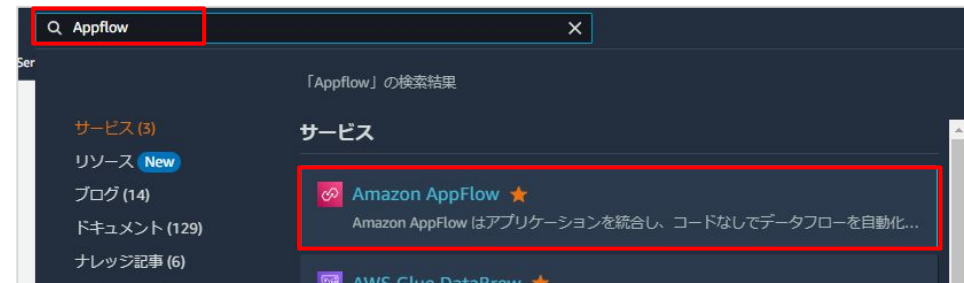
本番環境用の場合：

`zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity`

テスト環境用の場合：

`zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity`

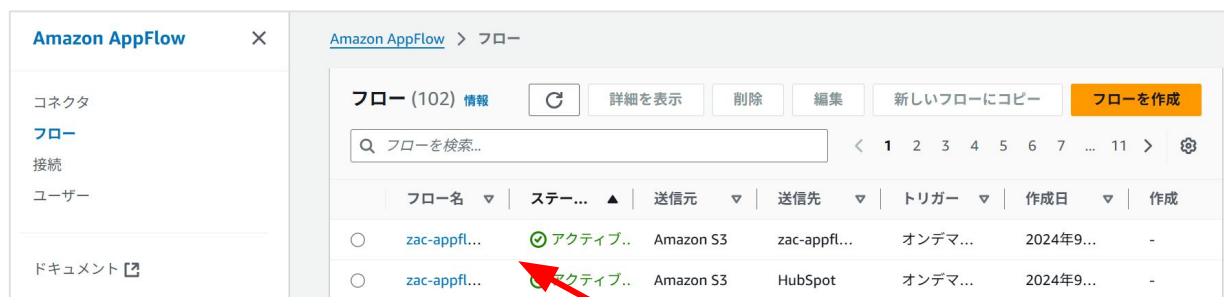
### ① AppFlowと入力



### ② Amazon AppFlowをクリック



### ③ 「フローを表示」をクリック



- ③ 「`zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity`」(本番)または、  
「`zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity`」(テスト)をクリック



## スケジュール連携のマッピング変更

- ⑤ 画面下部の「マッピングされたフィールド」で「データフィールドを編集」をクリックします。
- ⑥ マッピング方法を、CSVアップロードに変更します。
- ⑦ 作成したファイルのアップロードをします。
- ⑧ 最後に、「保存」をクリックします。



データフィールドの設定 | パーティションと集約の設定 | フィルター | タグ | 実行履歴 | 送信元のランタイム設定

マッピングされたフィールド (28) [情報](#)

Q 名前または式でフィールドをフィルター

送信元フィールド名	送信先フィールド名	式	データを変更
Amount amount	amount amount	-	-
Deal Name dealname	dealname dealname	-	-

⑤「データフィールドを編集」をクリック



マッピング方法

☐ 手でフィールドをマッピングする  
1つ以上の送信元フィールドを選択し、選択した送信先フィールドにマッピングします。

☒ マッピングされたフィールドを含む .csv ファイルをアップロードする  
送信元フィールドと送信先フィールドがすでにマッピングされている .csv ファイルを作成してアップロードします。

⑥マッピング方法をCSVアップロードに変更



送信元から送信先フィールドへのマッピング  
送信元フィールドを送信先フィールドにマッピングする方法を選択します。

ファイルのアップロード [情報](#)

ファイルは .csv 形式でなければなりません

☒ zac-appflow-s3-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

⑦作成したCSVファイルをアップロードする



▶ 妥当性確認 - オプション  
データフィールドに妥当性確認を追加し、無効なデータが見つかった場合に実行するアクションを指定します。

キャンセル

⑧「保存」をクリック

## イベント連携のマッピング変更

最後に、イベント連携のマッピングを変更します。

※イベント連携をご利用いただいていない場合も、今後最新のマッピングデータをダウンロードできるよう、こちらの作業を行っていただくことを推奨いたします。

- ① AWSコンソールの上部検索欄に「CloudFormation」と入力し、「CloudFormation」をクリックします。
- ② スタック名「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」または「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」のスタックをクリックします。
- ③ 出力タブをクリックし、キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリックします。

②「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」または「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」をクリック

③キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリック

①「CloudFormation」をクリック

The screenshot shows the AWS CloudFormation console. The top navigation bar has a search bar with 'CloudFormation' entered. The left sidebar shows the 'CloudFormation' service selected. The main content area displays a list of stacks under the 'スタック (80)' section. The stack 'serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageS3' is highlighted with a red box. A red arrow points from the stack name to the '出力' (Outputs) tab. The '出力' tab shows a list of outputs, with 'GlueConfigPathConsoleLink' highlighted by a red box. A red arrow points from the output name to the '値' (Value) column, which contains the URL 'https://ap-northeast-1.console.aws.amazon.com/s3/buckets/zac-appflow-s3-glue-config-387420415383/config/'.

## イベント連携のマッピング変更

- ④「アップロード」をクリックします。
- ⑤作成したCSVファイルをアップロードし、「アップロード」をクリックします。

④「アップロード」をクリック



⑤作成したファイルをアップロードし、「アップロード」をクリック



# **ZACに連携するSalesforceの項目 を追加する方法**

## 本章の目的

本章では、ZACに連携するSalesforceの項目を追加する方法を説明します。

なお、既に連携が設定されている項目を変更する場合と、新たに連携する項目を追加する場合では作業方法が異なります。

本章は後者を対象としておりますので、全社をご要望の場合は下記章をご参照ください。

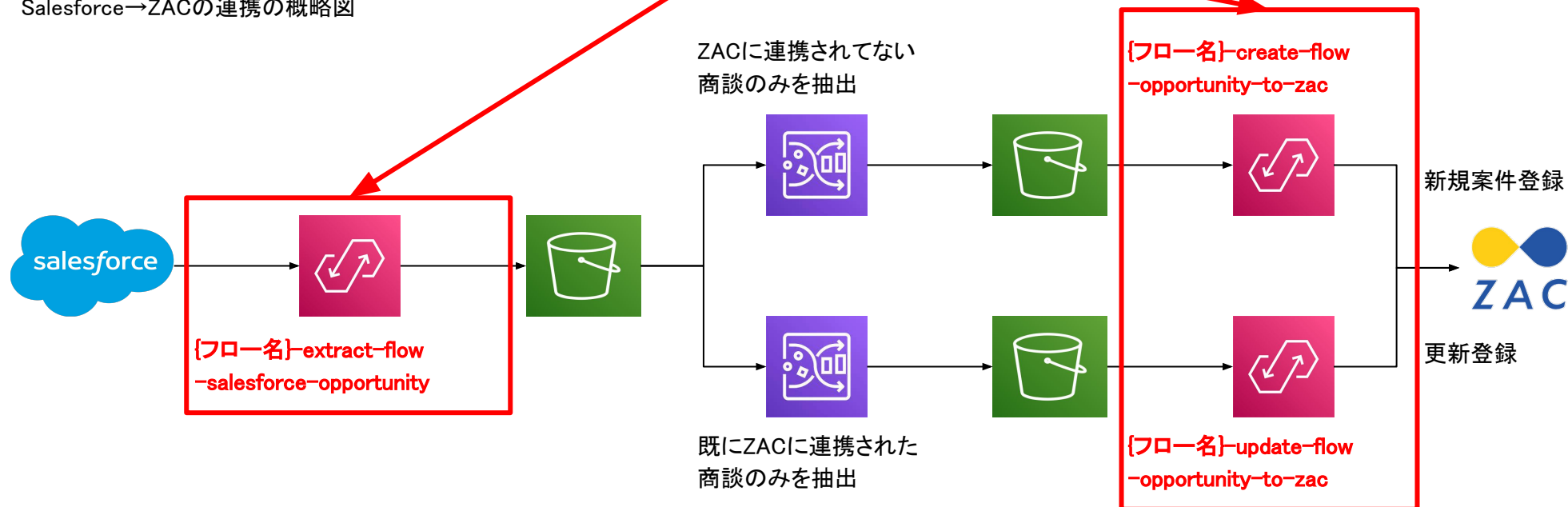
[ZACに連携するSalesforceの項目を変更する方法](#)

本章で説明する方法は、下記のようなシチュエーションでご活用いただけます。

- ・ZAC案件基本に項目を追加したので、Salesforceからの連携項目を増やしたい  
(カスタムフィールドを追加した場合も含みます)

本章ではこれらのフローのマッピングを変更します。

Salesforce→ZACの連携の概略図



## 取込ファイルの作成

連携項目の設定するために、取込ファイルを作成します。  
はじめに、現状のマッピングを定義しているファイルをダウンロードします。

### 【CSVデータのダウンロード】

- ① AWSコンソールの上部検索欄に「CloudFormation」と入力し、「CloudFormation」をクリックします。
- ② スタック名「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」または「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」のスタックをクリックします。
- ③ 出力タブをクリックし、キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリックします。

②「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」または「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」をクリック

③キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリック

①「CloudFormation」をクリック

The screenshot shows the AWS CloudFormation console. In the first view, the search bar contains 'CloudFormation' and the 'CloudFormation' service is selected. In the second view, the 'Stacks (80)' list is shown, and the stack 'serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageS3' is selected. In the third view, the 'Outputs' tab is active, and the output 'GlueConfigPathConsoleLink' is highlighted, showing its value as a URL.

キー	値	説明	エクスポート名
GlueConfigPathConsoleLink	https://ap-northeast-1.console.aws.amazon.com/s3/buckets/zac-appflow-s3-glue-config-387420415383/config/	GlueConfigPathConsoleLink	-
WebhookFunctionApiKeyLink	https://ap-northeast-1.console.aws.amazon.com/apigateway/main/apilinks	WebhookFunctionApiKeyLink	-

## 取込ファイルの作成

④下記名前のオブジェクトにチェックを入れて、  
CSVをダウンロードします。

本番環境用の場合：

zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac.csv

zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac.csv

テスト環境用の場合：

zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv

zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac.csv

zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac.csv

④ 左記の3つのオブジェクトについて、チェックを入れ「ダウンロード」する。  
(ダウンロードはそれぞれ個別で行ってください)





## 取込ファイルの作成

次に、ダウンロードしたファイルを編集します。

①下記ファイルを開きます。

(A列: Salesforce項目のAPI参照名、B列: S3のフィールド名)

本番環境用の場合:

`zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv`

テスト環境の場合:

`zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv`

②A列に追加したいSalesforce項目の「API参照名」を、

B列に任意の名称を入力して、元のファイル名で保存します。

③下記ファイルを開きます。

(A列: S3のフィールド名、B列: ZAC項目のAPIキー名)

本番環境用の場合:

`zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac.csv`

テスト環境の場合:

`zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac.csv`

④A列に②でB列に入力した名称を入力し、

B列にZACのAPIキー名を入力して、元のファイル名で保存します。

ZACのAPIキー名の確認方法については下記をご参照ください。

[\(補足\)ZACのAPIキー名の確認方法](#)

⑤下記ファイルについても③～④と同様に作成します。

(A列: S3のフィールド名、B列: ZAC項目のAPIキー名)

本番環境用の場合:

`zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac.csv`

テスト環境の場合:

`zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac.csv`

①「`zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv`」または  
「`zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv`」を開く

	A	B
46	zac_ps_code_kazei_kubun__c	zac_project_sales_code_kazei_kubun
47	zac_ps_tax_rate__c	zac_project_sales_tax_rate
48	zac_ps_ct_data_import_progr	zac_project_sales_code_type_data_import_progress
49	zac_ps_code_yotei_uriage_pr	zac_project_sales_code_yotei_uriage_progress
50	add_field__c	add_field__c
51		

②A列にSalesforce項目の「API参照名」を、B列に任意の名称を入力して保存

③「`zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac.csv`」または  
「`zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac.csv`」を開く

	A	B
24	zac_project_infos_custom_fie	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField4
25	zac_project_infos_custom_fie	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField5
26	zac_project_infos_custom_fie	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField6
27	zac_project_infos_custom_fie	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField7
28	add field__c	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField8
29		

④A列に②でB列に入力した名称を入力し、B列にZACのAPIキー名を入力して保存

③「`zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac.csv`」または  
「`zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac.csv`」を開き、  
③～④と同様に追記して保存

	A	B
24	zac_project_infos_custom_fie	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField4
25	zac_project_infos_custom_fie	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField5
26	zac_project_infos_custom_fie	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField6
27	zac_project_infos_custom_fie	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField7
28	add field__c	AddProjectInfos_CustomFields_CustomField8
29		



## 33

## スケジュール連携のマッピング変更 (Salesforce→S3)

作成したファイルをAWSにアップロードします。

まずは、スケジュール連携のSalesforce→S3のマッピングの変更をします。

- ① ページ上部検索欄に「AppFlow」と入力します。
- ② 検索一覧から「Amazon AppFlow」をクリックします。
- ③ 「フローを表示」をクリックします。
- ④ 一覧から下記フローをクリックします。

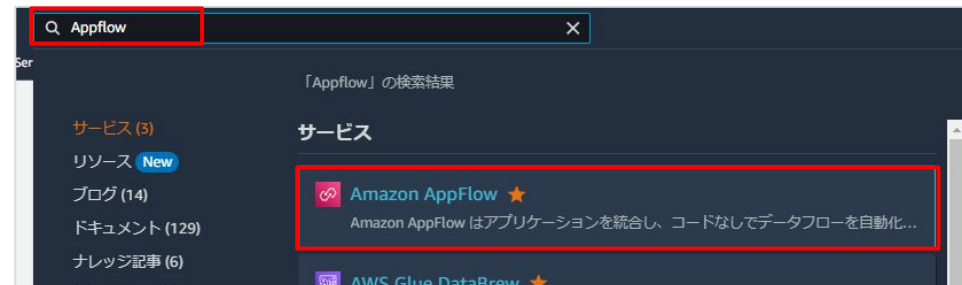
本番環境用の場合：

`zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity`

テスト環境用の場合：

`zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity`

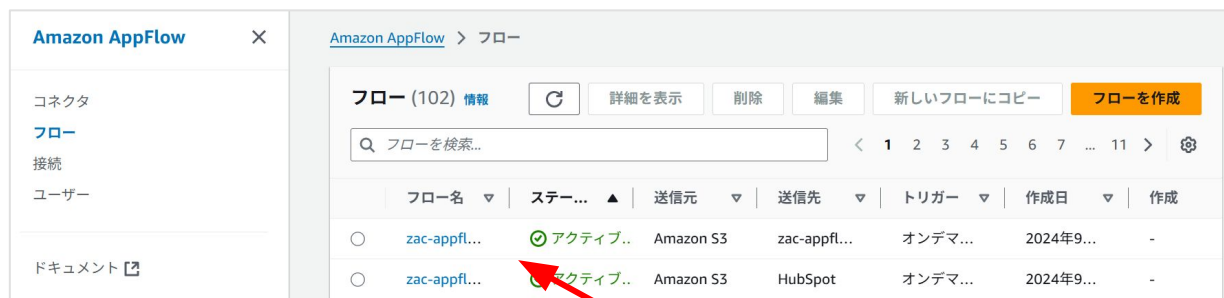
### ① AppFlowと入力



### ② Amazon AppFlowをクリック



### ③ 「フローを表示」をクリック



- ③ 「`zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity`」(本番)または、`「zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity」`(テスト)をクリック

## スケジュール連携のマッピング変更 (Salesforce→S3)

⑤ 画面下部の「マッピングされたフィールド」で  
「データフィールドを編集」をクリックします。

⑥ マッピング方法を、CSVアップロードに変更します。

⑦ 作成した下記のファイルのアップロードをします。

本番環境用の場合：

`zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv`

テスト環境の場合：

`zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv`

⑧ 最後に、「保存」をクリックします。

⑤「データフィールドを編集」をクリック

⑥マッピング方法をCSVアップロードに変更

⑦作成したCSVファイルをアップロードする

⑧「保存」をクリック

## スケジュール連携のマッピング変更 (Salesforce→S3)

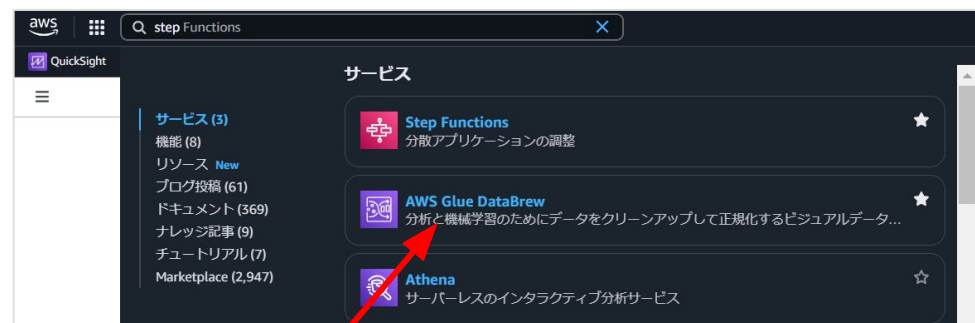
### ① Stepと入力

S3→ZACの連携項目を定義するために、  
前ページまでで設定したSalesforce項目をS3に連携します。  
まずは、新規登録に関する連携を行います。

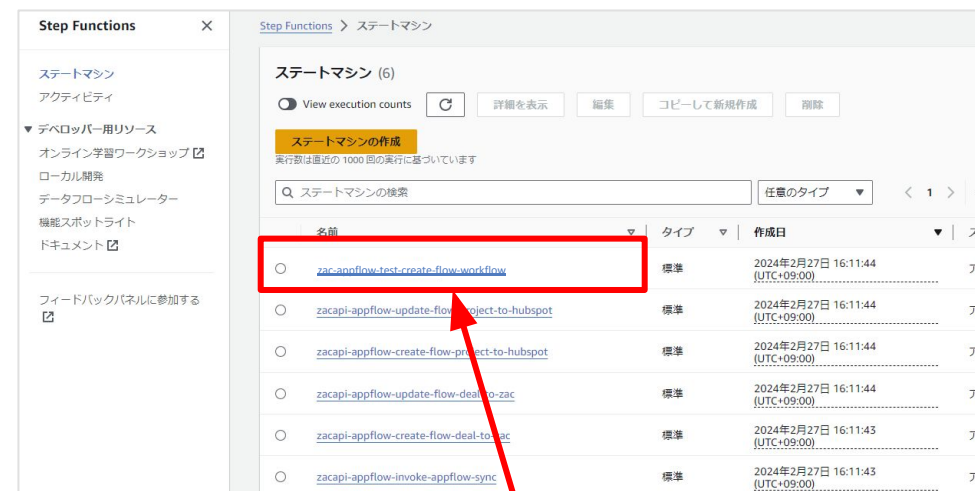
#### 【Step Functionsサービスの選択】

- ① ページ上部検索欄に「Step」と入力します。
- ② 検索一覧から「Step Functions」をクリックします。
- ③ 「ステートマシン」画面で名前:

テスト環境用の場合「zac-appflow-test-create-flow-workflow」  
本番環境用の場合「zac-appflow-prod-create-flow-workflow」  
をクリックします。



### ② Step Functionsをクリック



- ③ ステートマシン一覧から、「zac-appflow-test-create-flow-workflow」もしくは「zac-appflow-prod-create-flow-workflow」を選択

## スケジュール連携のマッピング変更 (Salesforce→S3)

### 【連携の実行】

- ① 選択したステートマシンの画面から、  
「実行を開始」をクリックします。
- ② 実行を開始ダイアログで「実行を開始」をクリックします。  
※結果は失敗となる場合もございますが、次のページの確認ができれば問題ございません。



Step Functions > ステートマシン > ステートマシン: zac-appflow-test-create-flow-workflow

zac-appflow-test-create-flow-workflow

編集 アクション ▼ **実行を開始**

詳細

①「実行を開始」をクリック

**実行を開始**

名前

08457614-e554-4b83-8ab1-9666bd5d6deb

1~80 文字である必要があります。英数字、ダッシュ、アンダースコアを使用できます。

入力 - オプション

この実行の入力値を JSON 形式で入力します

JSON をフォーマット エクスポート Import

```

1 {
2   "Comment": "Insert your JSON here"
3 }
```

④ 最新のリビジョンで実行を開始

☐ 新しいブラウザタブで開く

キャンセル **実行を開始**

②「実行を開始」をクリック

## スケジュール連携のマッピング変更 (Salesforce→S3)

### 【連携結果の確認】

①Amazon AppFlow>フローの画面を開きます。

②一覧から下記フローをクリックします。

本番環境用の場合:

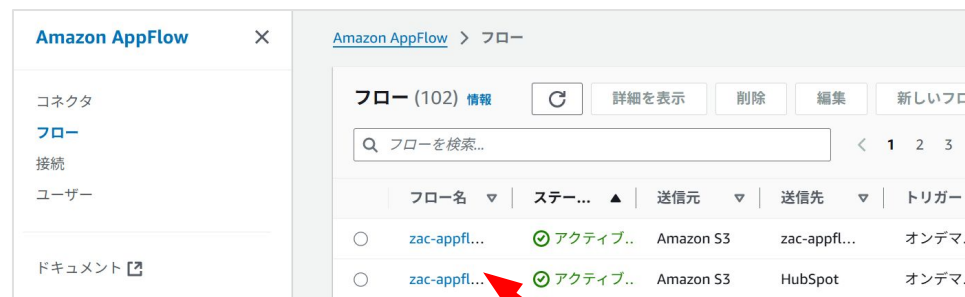
**zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac**

テスト環境用の場合:

**zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac**

②フロー詳細>送信元バケットのリンクをクリックします。

③オブジェクトの「最終更新日時」から、  
データが更新されていることを確認します。



①「**zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac**」(本番)または、  
「**zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac**」(テスト)をクリック



②送信元バケットの  
リンクをクリック



③「**最終更新日時**」から、  
データが更新されていることを確認



## スケジュール連携のマッピング変更 (Salesforce→S3)

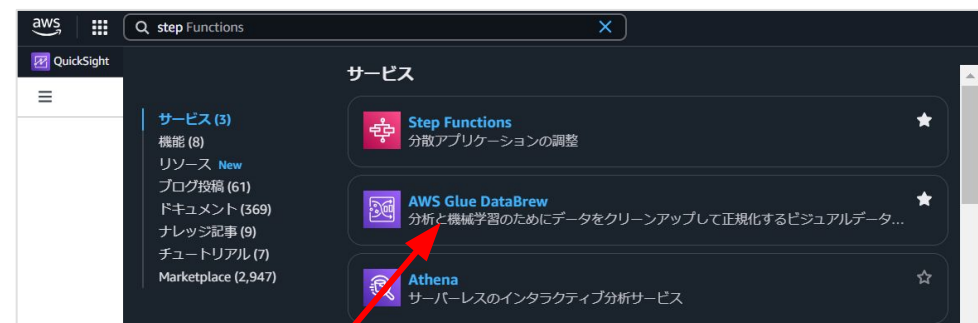
### ① Stepと入力

次に、更新登録に関する連携を行います。

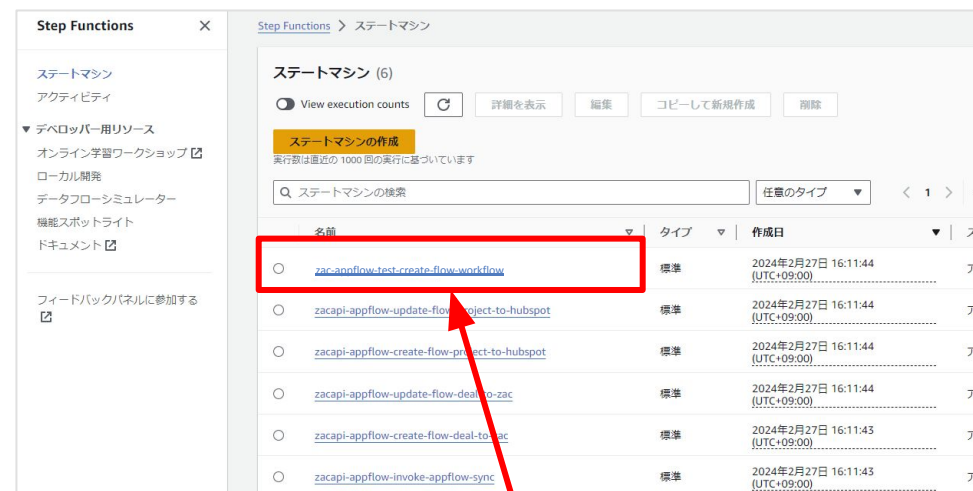
#### 【Step Functionsサービスの選択】

- ① ページ上部検索欄に「Step」と入力します。
- ② 検索一覧から「Step Functions」をクリックします。
- ③ 「ステートマシン」画面で名前:

テスト環境用の場合「zac-appflow-test-update-flow-workflow」  
本番環境用の場合「zac-appflow-prod-update-flow-workflow」  
をクリックします。



### ② Step Functionsをクリック



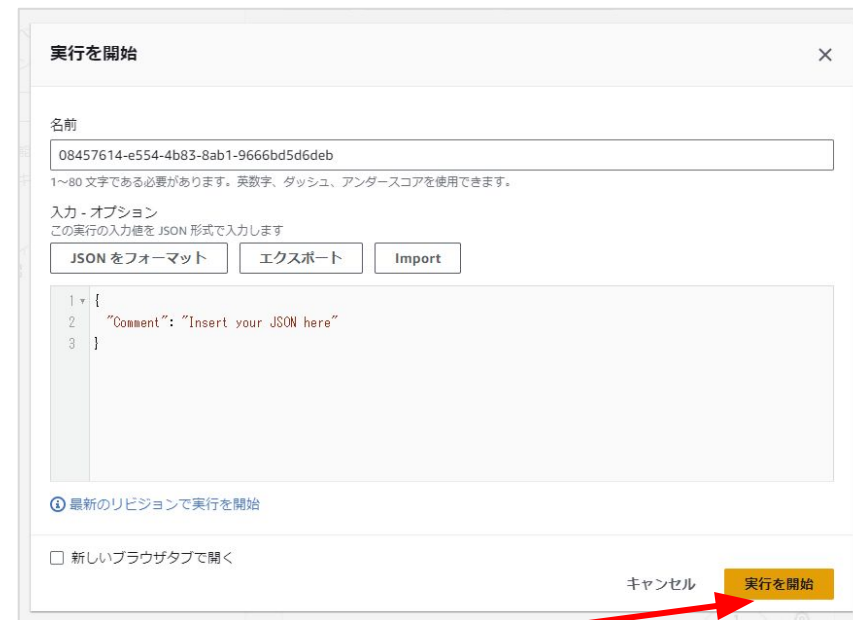
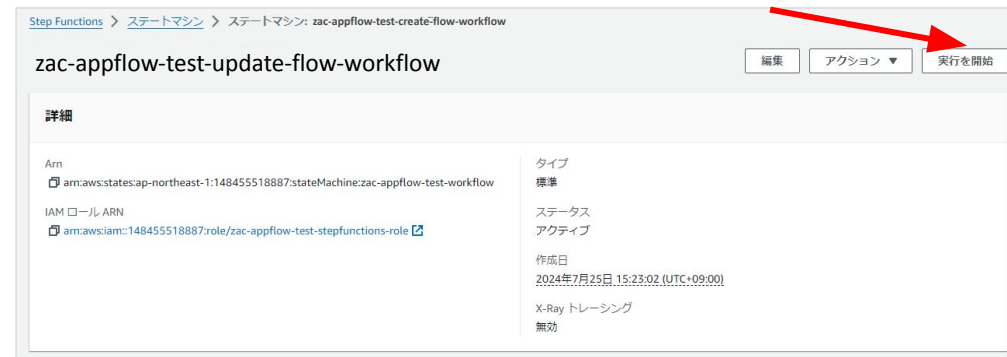
- ③ ステートマシン一覧から、「zac-appflow-test-update-flow-workflow」もしくは「zac-appflow-prod-update-flow-workflow」を選択

## スケジュール連携のマッピング変更 (Salesforce→S3)

### 【連携の実行】

- ① 選択したステートマシンの画面から、  
「実行を開始」をクリックします。
- ② 実行を開始ダイアログで「実行を開始」をクリックします。  
※結果は失敗となる場合もございますが、次のページの確認ができれば問題ございません。

①「実行を開始」をクリック



②「実行を開始」をクリック



## スケジュール連携のマッピング変更 (Salesforce→S3)

### 【連携結果の確認】

①Amazon AppFlow>フローの画面を開きます。

②一覧から下記フローをクリックします。

本番環境用の場合：

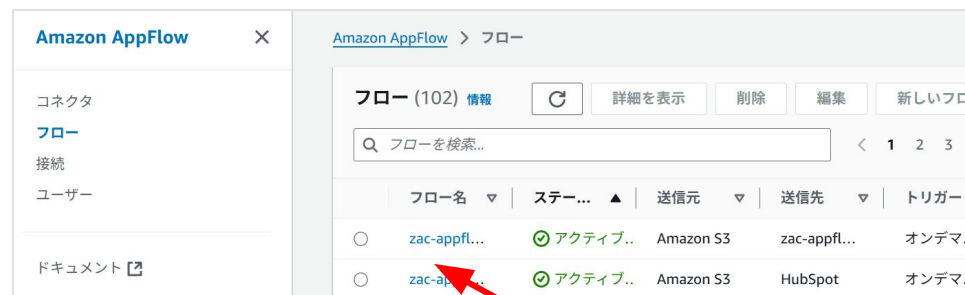
**zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac**

テスト環境用の場合：

**zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac**

②フロー詳細>送信元バケットのリンクをクリックします。

③オブジェクトの「最終更新日時」から、  
データが更新されていることを確認します。



①「zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac」(本番)または、「zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac」(テスト)をクリック



②送信元バケットの  
リンクをクリック



③「最終更新日時」から、  
データが更新されていることを確認

## スケジュール連携のマッピング変更(S3→ZAC)

S3→ZACの新規登録連携のマッピングを変更します。

### 【Amazon AppFlowサービスの選択】

- ① ページ上部検索欄に「AppFlow」と入力します。
- ② 検索一覧から「Amazon AppFlow」をクリックします。
- ③ 「フローを表示」をクリックします。
- ④ 一覧から下記フローをクリックします。

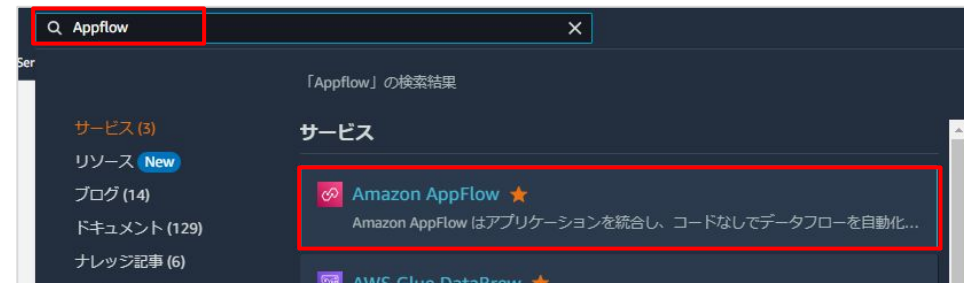
本番環境用の場合：

[zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac](#)

テスト環境用の場合：

[zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac](#)

### ① AppFlowと入力



### ② Amazon AppFlowをクリック



### ③ 「フローを表示」をクリック



- ③ 「[zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac](#)」(本番)または、  
「[zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac](#)」(テスト)をクリック

## スケジュール連携のマッピング変更(S3→ZAC)

⑤ 画面下部の「マッピングされたフィールド」で  
「データフィールドを編集」をクリックします。

⑥ マッピング方法を、CSVアップロードに変更します。

⑦ 作成した下記のファイルのアップロードをします。

本番環境用の場合：

`zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac.csv`

テスト環境の場合：

`zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac.csv`

⑧最後に、「保存」をクリックします。

⑤「データフィールドを編集」をクリック

⑥マッピング方法をCSVアップロードに変更

⑦作成したCSVファイルをアップロードする

⑧「保存」をクリック

## スケジュール連携のマッピング変更(S3→ZAC)

次に更新登録のマッピングの定義を行います。

### 【Amazon AppFlowサービスの選択】

- ① ページ上部検索欄に「AppFlow」と入力します。
- ② 検索一覧から「Amazon AppFlow」をクリックします。
- ③ 「フローを表示」をクリックします。
- ④ 一覧から下記フローをクリックします。

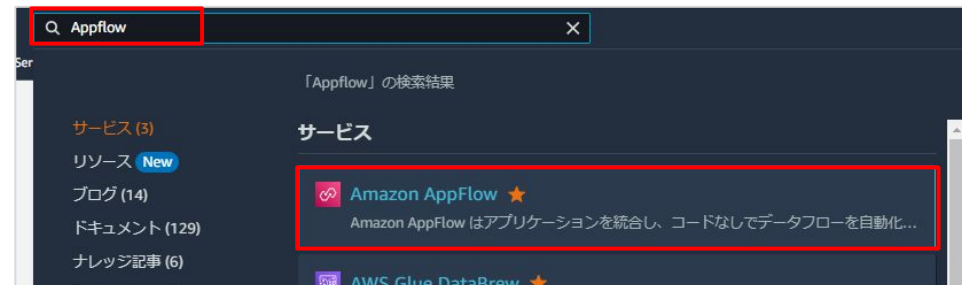
本番環境用の場合：

[zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac](#)

テスト環境用の場合：

[zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac](#)

#### ① AppFlowと入力



#### ② Amazon AppFlowをクリック



#### ③ 「フローを表示」をクリック



- ④ 「[zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac](#)」(本番)または、[「zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac」](#)(テスト)をクリック

## スケジュール連携のマッピング変更(S3→ZAC)

⑤ 画面下部の「マッピングされたフィールド」で  
「データフィールドを編集」をクリックします。

⑥ マッピング方法を、CSVアップロードに変更します。

⑦ 作成した下記のファイルのアップロードをします。

本番環境用の場合：

`zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac.csv`

テスト環境の場合：

`zac-appflow-test-update-flow-opportunity-to-zac.csv`

⑧最後に、「保存」をクリックします。



⑤「データフィールドを編集」をクリック



⑥マッピング方法をCSVアップロードに変更



⑦作成したCSVファイルをアップロードする



⑧「保存」をクリック

## イベント連携のマッピング変更

最後に、イベント連携のマッピングを変更します。

※イベント連携をご利用いただいていないお客様も、今後最新のマッピングデータをダウンロードできるよう、こちらの作業を行っていただくことを推奨いたします。

- ① AWSコンソールの上部検索欄に「CloudFormation」と入力し、「CloudFormation」をクリックします。
- ② スタック名「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」または「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」のスタックをクリックします。
- ③ 出力タブをクリックし、キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリックします。

②「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」または「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」をクリック

③キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリック

①「CloudFormation」をクリック

The image shows three screenshots of the AWS CloudFormation console. The first screenshot shows the search bar with 'CloudFormation' entered and the 'CloudFormation' service selected. The second screenshot shows the 'Stacks' list with the stack 'serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageS3' selected. The third screenshot shows the 'Outputs' tab for the selected stack, with the output 'GlueConfigPathConsoleLink' highlighted.

**CloudFormation サービス**

CloudFormation: テンプレートによるリソースの作成と管理

**スタック (80)**

スタック名	ステータス
serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageS3-ZacApiAthenaConnector-1HLDQFW68VLC	CREATE_COMPLETE
serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageS3	CREATE_COMPLETE
serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageS2-ZacSfaIntegration-1QSD100A01Q1N	CREATE_COMPLETE

**serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageS3**

出力 (3)

キー	値	説明	エクスポート名
GlueConfigPathConsoleLink	https://ap-northeast-1.console.aws.amazon.com/s3/buckets/zac-appflow-s3-glue-config-387420415383/config/	GlueConfigPathConsoleLink	-
WebhookFunctionApiKeyLink	https://ap-northeast-1.console.aws.amazon.com/apigateway/main/apilinks	WebhookFunctionApiKeyLink	-



## イベント連携のマッピング変更

④「アップロード」をクリックします。

⑤作成した下記CSVファイル3種類をアップロードし、「アップロード」をクリックします。

本番環境用の場合：

`zac-appflow-prod-extract-flow-salesforce-opportunity.csv`

`zac-appflow-prod-create-flow-opportunity-to-zac.csv`

`zac-appflow-prod-update-flow-opportunity-to-zac.csv`

テスト環境用の場合：

`zac-appflow-test-extract-flow-salesforce-opportunity.csv`

`zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac.csv`

`zac-appflow-test-create-flow-opportunity-to-zac.csv`

④「アップロード」をクリック



⑤作成したファイルをアップロードし、「アップロード」をクリック

# 連携対象のフェーズの変更方法



## Salesforce商談フェーズ-ZAC決定確率の変換設定

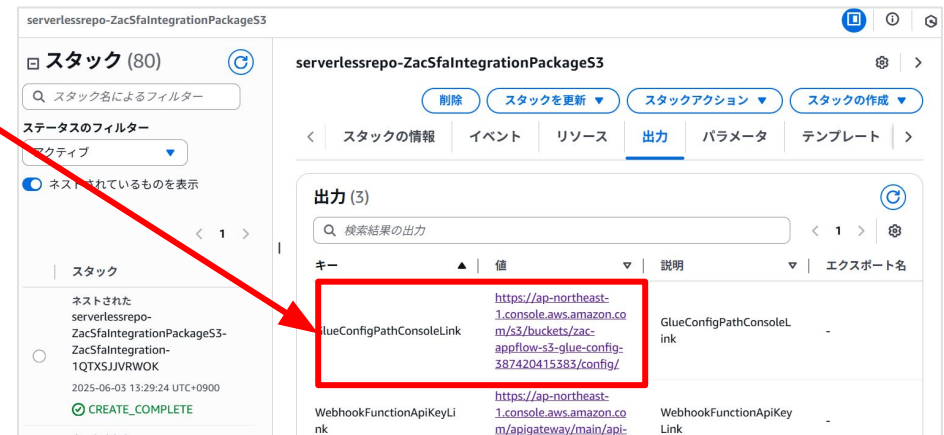
AWSで、Salesforce商談フェーズとZAC決定確率のデータ変換の設定の変更方法について説明します。

- ① AWSコンソールの上部検索欄に「CloudFormation」と入力し、「CloudFormation」をクリックします。
- ② スタック名「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」または「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」のスタックをクリックします。
- ③ 出力タブをクリックし、キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリックします。

②「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageTest」または「serverlessrepo-ZacSfaIntegrationPackageProd」をクリック

③キー「GlueConfigPathConsoleLink」のリンクをクリック

①「CloudFormation」をクリック



## Salesforce商談フェーズ-ZAC決定確率の変換設定

### ④ 「stage.csv」にチェックを入れ、「ダウンロード」をクリック

④ オブジェクトの「stage.csv」にチェックを入れ、「ダウンロード」をクリックします。

⑤ ダウンロードしたCSVを開き、事前に整理した「Salesforce商談フェーズの内部ID」と「ZACの決定確率コード」を入力します。  
CSVの作成例として、下記キャプチャをご参照ください。

※「Salesforce商談フェーズの内部ID」に日本語が含まれる場合、文字コードはUTF-8(BOM無)で保存してください。(BOM有・BOM付きで保存されていると読み込みに失敗します)

⑥ CSVが作成できましたら、再びAWSの画面に戻り、「アップロード」をクリックします。

⑦ ドラッグアンドドロップで作成した「stage.csv」をアップロードし、「アップロード」をクリックします。



### ⑥ CSV作成後、「アップロード」をクリック



### ⑦ 作成した「stage.csv」をアップロードし、「アップロード」をクリック



⑤ ダウンロードしたCSVに、事前に整理した「Salesforce商談フェーズの内部ID」と「ZACの決定確率コード」を入力して保存

参考) stage.csvの作成例

	A	B
1	stage	zac_project_infos_dealstage
2	appointmentscheduled	4
3	qualifiedtobuy	3
4	presentationscheduled	2
5	decisionmakerboughtin	1
6	contractsent	1

CSV

 **oRo co.,ltd.**